

ようこそ

第 32 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL097-527-6916
FAX097-527-6949

キッズサンガ
みんな仏の子



(上)第34回サマースクールに
小学生43名と中学生8名が
参加しました
(7月31日～8月1日)



(左)お寺の境内いっぱい
広がって、みんなで
ラジオ体操をしました
(8月1日)

ある夏の日のお寺の朝

八月一日(金)朝六時、円光寺の境内に仏の子どもたちが集いました。昨日からサマースクールに参加している小学生、中学生、そして円成会のおじちゃんおばあちゃんたちです。

「朝のつどいを始めます。仏さまにお礼をします。ナマンダブ、ナマンダブ、ナマンダブ」

慣れない本堂で寝て眠れなかったのか、友だちと夜遅くまで話したりして眠らなかったのか、寝ぼけた眼を擦りこすり、声もまだ上の空です。

「体操をします。ラジオ体操第一!」

子どもに負けてたまるかとばかりに、体を大きく使っておじいちゃんおばあちゃんが頑張っています。あんまり無理しないでくださいね。毎月一日は円成会の例会日。朝まだ明るい夏の日はお寺のお朝事にお参りして一緒に食事を戴きます。

台所の窓から婦人会のお母さん方が微笑ましく子どもたちを見えています。朝ご飯の準備で早朝からお寺に来てお手伝いくださっています。

体操が終わり、本堂に入って朝のお勤めをします。今朝はいつもより賑やかなお朝事です。

お寺の本堂の中心に阿弥陀如来さまがいらっしやいます。子どもも大人も、女子も男子も、ご院家さんも坊主さんも新院さんも、みんな一緒にお勤めします。

みんなのお寺です。生活ぶりがそれぞれ違う私たちみんなが一堂に会えるところ、それがお寺です。仏説阿弥陀経に、お浄土を「俱会一処」と説かれてあります。お寺の本堂も俱会一処、みんなの家、私たちはみんなお念仏の家族です。大いなるいのちのつながりのなかに生かされ安心して、今日も一日が始まりました。

お朝事『法話』より
秋は夕暮れ

秋は夕暮れ

町角掲示板に今月は「遊ぶ子に 帰っておいでと 母の声 はいつとかけ出す 秋の夕暮れ」と書かせていただきました。

秋は夕暮れといいますが、秋の日のつるべ落しといつて、夕方は急に暗くなってきました。

子どもの頃、夕方時間を忘れて友だちと夢中で遊んでいました。そこに「ご飯できたよ。帰っておいで」と母のよぶ声がします。その声に子どもが「はい」とかけ出して、家族が待っている家に一目散に帰って行きます。

秋の夕暮れを私の人生に重ねてみます。今はもう人生の夕暮れ時です。人生の夕暮れに、帰る家です。どこに帰るのか、浄土真宗のご法義に聞かせていただきます。

浄土真宗は浄土を真実の依り処とする仏教です。お浄土は阿彌陀さまがこの私を必ず救うと本願を建て修行してつくつてくださった本願成就の世界です。なぜこの私のために、それも私が頼んだわけではないのです。阿彌陀さまから観るとこの私は、迷いの中にありながら迷い



健康づくり教室(9月10日、あんのん館) 釘宮ばんだん市長が来訪されました

を迷いと気づかず朝から晩まで私が私がいつも自分を中心に、煩惱を燃やして生きている愚かな凡夫といわれます。それこそ自分の思いのままに遊びほうけて、あつちに行ったりこつちに行ったりと迷っている私です。この私に声がかかります。本願成就の南無阿彌陀仏のお名号、阿彌陀さまのお喚び声です。今日も何度も何度もこの口からお念仏が出てくださいましたね。ナマンダブナマンダブ、私の声ですが、そのまんま阿彌陀さまがこの私を喚んでくださるお喚び声といただきます。もつと身近なところでいうと、私たちのお父さんお母さん、先にお浄土に往かれたご先祖有縁の仏さまの声です。ナマンダブナマンダブ、いつも私が一緒だよ、私の

ところに帰っておいでと喚び続けてくださっています。皆さんも私もお浄土に行つたことはないところだけれども、お浄土に帰るといいます。お浄土には私のことをいつも忘れず思っていてくれる親がいるからです。お念仏の先人は阿彌陀さまのことを親さまと慕ってきました。

ナマンダブナマンダブ、私のところに帰っておいでと喚んでくださる、その声にはつとして、「はい」とかけ出す。必ず救うまかせよの南無阿彌陀仏のお喚び声に、私は「はい」とただそれだけです。

阿彌陀さまのお救いはそのままの救いです。善いことをして救われる、この条件を満たしたから救うてくれるという救いでは

ありません。だからみんな平等に分け隔てなく救われていくのです。そのお浄土には先に往かれた懐かしい方々が待つておられる。再び会うことができる俱会一処の世界とまで仕上げてつ

阿彌陀さまのお喚び声、南無阿彌陀仏のお心を聞かせていただきます。帰っておいで」の母の声に「はい」と母が待つ家に帰る子どものように、阿彌陀さまのお浄土に救いとられていく私たちなのです。

今日の夕暮れ、私の帰る家、お浄土を思いお念仏申して過ごさせていただけます。

お朝事にお参りしましょう
毎朝6時30分〜7時

(10月12日)

ご案内

◆御正忌報恩講

11月26日(水) 13:00~15:00
同 19:00~21:00
(子どもほうおんこう)

11月27日(木) 11:00~15:00
同 19:00~21:00

11月28日(金) 10:00~12:00

◆常例法座

12月16日(火) 10:00~11:30

◆除夜会(鐘つき)

12月31日(水) 23:40より

◆元旦会

1月 1日(木) 除夜会に引続き

◆初法座

1月 2日(金) 10:00~11:00

◆常例法座(親鸞聖人祥月御命日)

1月16日(金) 10:00~11:30

◆常例法座

2月16日(月) 10:00~11:30

「月に一度は
お寺参りしましょう」

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。

大智新院が教師をいただきました

藤並大智新院(法名釋大智)が
ご本山で9月21日から30日まで
十日間教師教修を受け、9月30
日付「浄土真宗本願寺派教師」を
授かりました。住職後継者とし
ての資格です。

さつそく10月16日の常例法座
でお参りの皆さんに教師として
の決意と抱負を話してくれまし
た。ご門徒皆様のこれまでのお
育てに深く感謝申し上げます。
誠に有難うございました。



お朝事のお同行共々仏祖に
奉告致しました(10月2日)

敬老会のお楽しみ!!



(右上・左下) 笑門会のひょっこり踊り
(左上) 橋本政徳さんのハーモニカ唱歌演奏
(右下) 三浦通子さんの踊り「ぼけたらあかん」
会場の皆さん、歌って笑って大忙しです(10月1日)

七夕の会



7月の円成会誕生会
七夕飾りを作りました
(7月1日)

還暦を祝う会



全戦没者追悼法要に
お参りの皆さんと一緒に
記念撮影(8月15日)

お月見会

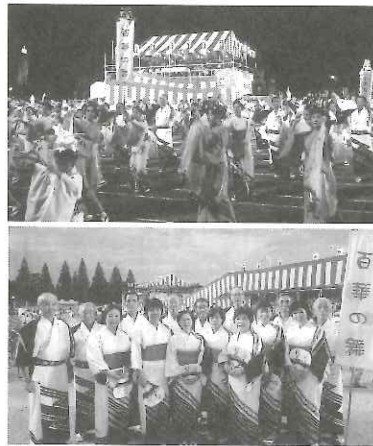


十三夜の日、団子とススキを
お供えて、お茶の会の皆さんと
お抹茶をいただきました(10月6日)

本場鶴崎踊大会に 出場しました

(上)「百華の舞」ののぼり高々と
夜空に映えて、粋な男衆の
華麗な舞です

(下) 去年は雨で中止、「一年ぶ
り出場」の15人の舞同行です
(大分市鶴崎公園グラウンド、
8月24日)



あとかぎ

朝四時、いつになく早く目が
覚めた。いつものようにポスト
を開けると朝刊があった。

〈えっ、こんなに早く来るんだ〉

新聞を届けてくれる人がいる。

新聞を作る人がいる。取材、編

集、印刷と、この新聞一つに多

くの人の思いがまつている。

まだ会ったことがない人も、

みんなのちつながつて生きて

いる、生かされている思いつば

いに、今日も一日生きていこう。